

評価会議（平成 29 年度期末）における委員の評価及び意見

1 取組実績の評価（1）：事業の実施状況

評価点 (配点 25 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	18	20	13

主な意見等

2 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等

評価点 (配点 15 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	12	13	10

主な意見等

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価点 (配点 20 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	15	17	16

主な意見等

4 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点 40 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	30	35	35

主な意見等

5 総合評価

(1) 総合評価 I

項目	A 委員	B 委員	C 委員
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	A	A
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	B	B
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	A	A

主な意見等

(2) 総合評価 II

項目	A 委員	B 委員	C 委員
総合評価（全体）	B	A	B

主な意見等

- ・区役所、アドバイザーが動いており、効果も出ているが、認知度を向上させることで地域との関係をより密にすることができる
- ・区の直接支援になったことで、行政ならではの情報を駆使し、潤沢なスタッフ体制の基での事業遂行は評価されると思います。
- ・一方で、柔らかくしなやかな発想での地域支援の要素が失われないか気掛かりです。
- ・地域カルテの活用をしつつ、新たなまちづくりの事業に乗じて、次世代の参画を促すようなサポートも心掛けていってください。
- ・西部まちづくりの動きを今後は最大限に活用しつつ支援されたい
- ・引き続き委託ではなく嘱託の強みを生かした支援に留意されたい

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない